



住吉っさん





住吉大社

宮司

神武
磐彦

こうたけ
いわひこ



4年ぶりの神輿奉昇（神輿会 平井 靖久氏撮影）



四年ぶりに盛大かつ
厳粛に斎行された

住吉祭

住吉大社の菅祓



飯匙堀祓詞奏上

住吉大社宿院頓宮の祓神事
あらにこのおほはらえ
 (荒和大祓神事) は、昨年に
 堺市の無形民俗文化財に指定
 されました(令和4年12月16
 日付)。これを機に神事をより
 厳肅に肅行するため、令和5
 年住吉祭では「菅祓」を再興
 しました。

神道の中心でもある「祓」で
 は、様々な植物を用いてきまし
 た。例に挙げれば、サカキ(榊・
 賢木)、アサ(麻)、ユウ(木綿・
 楮)、チガヤ(茅・萱)、アマ
 モ(甘藷)、オガタマ(招霊)、
 カツラ(桂)、スゲ(菅)等が
 知られ、いずれも邪悪なものを
 退け、清浄な靈力が宿るものと
 して利用されてきました。

大祓詞のなかに、ツミ・ケ
おほはらえのしほ
 ガレを祓うための所作として
あますがそ
 「天つ菅麻を本刈り断ち末刈り
もとか
すえか



身体を撫でた後に菅に息を吹きかける

切りて八針に取り辟きて」という有名な言葉があります。この「天つ菅麻」は、古くは菅曾と表記され、祓の用具であるスゲ（菅）の細片のことです。現代の一般的な神社ではアサ（麻）を用いますが、元来は清々しいの「スガ」に通じるスガソ（スゲ）でした。

住吉では古来より大祓にスゲが用いられています。当社では祓具「菅貫」と呼称し、一社故実の秘儀として継承してきました。

鎌倉時代の記録『住吉太神宮諸神事次第』には、住吉大社の社頭および堺の宿院頓宮において菅祓があったことが記され、神職たちには4枚1組のスゲが配られて、各人が2つに割って祓をおこなっていたとあります。

これは今日でも同様です。当社の故実では、スゲの葉1本の



菅貫を八針に取り裂く

先端と根元を切り整えて、大きさ3寸（約9cm）のスゲ細片を4枚重ねて1組にします。神事では、これを身体に撫^なでつけて、息を吹きかけてケガレを附着させ、最後には、縦^{たて}にしたスゲ1組を割り裂^きいて、左右に分離させます。4枚を2つに割るので、都合8片になります。これが前述の大祓詞の言葉と一致する祓の所作になります。

江戸時代前期の住吉社人・梅園^{うめぞの}惟朝によれば、そもそも菅祓は初代神主・タモミノスクネから伝来するもので、全国神社とは異なり住吉大社にのみ伝来する秘儀として「天下に比類無きもの」と特筆しています（『住吉松葉大記』）。

さて、住吉大社では神事に用いる菅貫の材料には、近年までは大阪市東成区の深江^{ふかえ}産のスゲを使用してきました。古来より深江の菅細工は有名で、深江の菅^{すげ}笠は、宮中や伊勢の神



宮でも用いられる由緒あるものでした。しかし、近年には生産量が限定されて調達が困難になりましたので、平成17年（2005）からはチガヤを代用していました。

菅祓を再興するため、社務所では資料調査と考証を行ない、令和4年（2022）11月、当社の岡康史禰宜によって神事用力サスゲの試験栽培を開始、飛地境内の浅沢沼にて自然植育を行いました。翌5年7月には刈取り、乾燥の後、試行錯誤の結果、旧来の菅貫を復元することに成功しました。

令和5年の住吉祭では、夏越祓神事なごしのはらえおよび飯匙堀祓神事いいかいほりの両神事において、宮司による古伝の秘歌「ナカトミノアメノマスゲヲ……」も唱え合せて、このたび伝統の「菅祓」が復活することになりました。ここに謹んで紹介いたします。

権禰宜 小出英詞

スゲの試験栽培について



刈取り（令和5年7月3日）



カサスゲの試験栽培（浅澤社境内）

宿院頓宮の祓神事が堺市の無形民俗文化財に指定されたことに伴い、原材料の確保と伝統文化継承の為、スゲの試験栽培を実施いたしました。

祓神事で使用するスゲは、学名「カサスゲ」、カヤツリグサ目カヤツリグサ科スゲ属で、その名の通り笠などの材料として利用されてきました。水辺に自生する身近な植物です。安定した水の確保や日当たりの良い場所を選定し、浅沢沼で栽培することといたしました。

昨年に20株を植栽、春には新芽が伸び始め夏を迎えるころには1.5メートル程に成長いたしました。乾燥と加工を繰り返し祓具「菅貫^{すがぬき}」の原材料を調整するのです



禰宜 岡康史

5キログラムのスゲから加工できた原材料はわずか400グラムほどでしたが、大変満足しております。神事も文化も、一度伝統が途絶えると復活させるには何倍もの力が必要です。これからも住吉の伝統神事を顕彰し、後世への布石となるよう尽力して参りたいと存じます。



神事用菅の調製完了（令和5年7月20日）

が、何度やっても思うような状態にはなりません。祭典日が迫るなか、只々日にちだけが過ぎていきます。育てたスゲを無駄にしたくないとの思いで、加工方法の模索と植物の書籍を読み込むことで、ようやく納得のいく綺麗な原材料に仕上げることが出来ました。試行錯誤の連続でしたが、新たな発見や先人の苦勞を知ることが出来ました。

寄稿

おおさかしょりん おぶん こう

大阪書林御文庫講創立三百年を迎えて

大阪出版協会理事長 矢部敬一



住吉御文庫

住吉大社境内後方の神苑隅に、寄棟造本瓦葺2階建ての土蔵がひっそりと佇みます。平成30年(2018)5月、登録有形文化財に指定された住吉御文庫であります。この土蔵は享保8年(1723)9月に、大坂、京都、江戸の三都の書林(本屋)が発願して建造されました。ここに当時刊行された書籍の初刷り本を各書林が奉納しました。図書館がない江戸時代においては、一般庶民が簡単に本を読むことは出来ませんでした。住吉御文庫に奉納された書籍は、庶民にも開放されました。「大阪最古の図書館」と呼ばれる由縁です。

住吉御文庫が発願されたと同時に結成されたのが、奉納された初刷り本の曝書(ばくしよ)や修復を担う版元(出版社)の団体である住吉御文庫講であります。以来300年の間、初刷り本の奉納と曝書は、途中何度かの中断があったものの現在まで連続と継続されています。

住吉御文庫が創建されてすぐに、大阪天満宮にも御文庫が建立され、同じく天満宮御文庫講も結成されました。その後、書林からの奉納だけではなく、大坂の学者や知識人からも書籍の奉納は間断なく続き、両文庫とも充実した蔵書を現在も誇っています。

明治43年(1910)、住吉御文庫講と天満宮御文庫講とは合併し、新たに大阪書林御文庫講を結成しました。それ以来、今日に至るまで、5月には住吉大社、10月には天満宮で奉納と曝書のご奉仕を務めています。



手締め（左から桂文我師匠、藤波講元、旭堂南海師匠、小出権禰宜、高島幸次先生）



創立 300 年記念講演会（大阪市中央公会堂）



藤波講元



小出権禰宜

上がりました。

先生による『大阪天満宮と御文庫講』。短い休憩を挟んで、落語家の桂文我師匠の司会による『三百年記念座談会』を、前段の講演者3人と大阪書林御文庫講演元・藤波優氏を交えて出版の話、大阪・京都・江戸の違いなどが軽妙に語られ、多くの聴衆が訪れた会場は大いに盛り



令和5年（2023）9月、住吉御文庫講が誕生して300年の節目の今年、記念行事が挙行されました。紀伊國屋書店梅田店での記念ブックフェア、大阪府立中央図書館でのパネル展示、そして9月15日に開催されたメインイベント「大阪書林御文庫講創立三百年記念講演会」です。大阪のシンボルでもある大阪市中央公会堂の大集会室で行われたのは、出演順に講談師の旭堂南海師匠による『講談・御文庫誕生ものがたり』、続いて住吉大社権禰宜・小出英詞氏の講演『住吉大社と御文庫講』、講演の最後は大阪天満宮文化研究所長・高島幸次



創立 300 年祝賀会 神武宮司祝辞

講演会に引き続き近くの会場で懇親会が開かれ、住吉大社の神武宮司よりお祝いの御挨拶と乾杯の御発声を賜りました。会場にいた御文庫講員全員が300年の時の流れに思いを馳せ、そのお言葉の一つ一つを深く心に刻みました。

書籍の世界はこの20年、デジタル、インターネット、AIの進展、電子書籍やオーディオブックなどの登場で大きく変化を遂げてきています。この先の100年を思う時、書籍の行く末がどのようになっていくのか定かではありませんが、先人の遺した和書・漢書を御文庫の中で手にすると、その精神、思いが直接我々に語りかけてきます。書籍の形がどのように変わっても、その中に込められた思いは次世代へ継承していきたいと思えます。



住吉公園 開設一五〇周年記念

記念誌『住吉公園と住吉さん』を発刊して

都市公園住吉公園指定管理共同体

代表企業 株式会社美交工業 福田 久美子



住吉公園が開設されて令和5年（2023）で150年をむかえました。かつては住吉大社の「馬場の松原」と呼ばれた古の海浜は、今では市街地の緑豊かな都市公園となり、府民の憩いの場として親しまれています。

明治6年（1873）太政官布告第十六号により、同年8月2日に住吉大社の旧境内地全域（官有地）が公園地に指定されました。これは大阪府で最初の公園であり、上野公園（寛永寺）や芝公園（増上寺）と並ぶ日本最古の公園の一つでもあります。さらに、12月24日には

浜寺公園が開設されました。住吉大社から生まれた住吉公園は、2年後には神社と公園に分離され、以後は役割を別にししながら近代から現代までの道を歩んできました。

平成30年（2018）に、住吉公園開設150年にむけて、大阪市立大学教授（当時）水内俊雄氏、住吉大社にお声がけし、公園に関わる古文書や公園史、デジタル化などに造詣のある各委員を招集し、公園と周辺の名所旧跡や施設整備の歩みなどを紹介する『住吉公園歴史探訪』を季刊する運びとなりました。





そして、令和4年7月22日に「住吉公園歴史探訪公開フォーラム」を開催。さらに、150年にあたる令和5年には記念誌「住吉公園と住吉さん」(東方出版)を刊行し、同年8月5日に発刊記念フォーラム「住吉大社から生まれて

150年」(会場・住吉大社吉祥殿)を開催しました。

フォーラムの主催は都市公園住吉公園指定管理共同体、住吉大社・大阪府が共催、大阪市教育局・堺市・住之江区・住吉区の後援により開催。216名の参加を得て、大阪府の三原理事による知事挨拶代読に続き、趣旨説明を編集代表の水内俊雄氏(大阪公立大学客員教授)、基調講演を越澤明氏(北海道大学名誉教授)、記事紹介とパネルディスカッションを住吉大社権禰宜の小出英詞氏・寺田孝重氏(一財)荻田土地改良記念コミュニティ振興財団・荒木美喜男氏(大阪府庁公園OB)・櫻田和也氏(NPO法人remo記録と表現とメディアのための組織)・繁村誠人氏(NPO法人国際造園研究センター)が登壇、会場では関連図版資料の特別展示が行われ、最後に住吉大社宮司の神武磐彦氏よりご挨拶を賜りました。

全国でも、都市公園制度制定150周年を記念して、明治期に開設された各地の公園で多彩な行事が開催されました。

大阪府では、(公財)国際花と緑の博覧会記念協会・(一財)大阪府公園協会とともに関係団体と連携しながら、住吉公園と浜寺公園のイベント会場を阪堺電車の貸切ガイド運行で結ぶ「おおさか都市緑化フェ

—おしらせ—
新刊図書

住吉公園と住吉さん

—住吉大社から生まれて150年—

東方出版



水内俊雄・小出英詞 編著
寺田孝重・繁村誠人・荒木美喜男・櫻田和也 著

公園開設
150年
記念出版

価格・四、一八〇円(本体三、八〇〇円)
令和5年(2023)8月7日刊行
ISBN978-4-86249-445-0

日本最初の公園の成り立ちと
その変遷に迫る。

歴史・地理、神社や地域との関係、植生などを綿密に探究。古文書・絵地図・写真等カラー図版300余点を収録。

本書の構成

- 第一章 住吉大社と住吉公園
 - 第二章 絵図や古写真からひもとく風景
 - 第三章 まちの成り立ちと発展の中で
 - 第四章 都市公園としてのあゆみ
 - 第五章 植生や地形からみえる風景
- 甦る光景 八名の方から聞く地域の戦前・戦後
住吉公園・住吉大社の歩み(関連年表)



都市公園制度
制定150周年記念事業
のロゴマーク



住吉公園・浜寺公園の
開設150周年を
盛り上げることを
目的に作成された
シンボルロゴマーク



ア」を11月5日に開催しました。

150年の歴史の息づく住吉公園には、住吉高燈籠や芭蕉句碑燈籠をはじめ各顕彰碑、ラジオ塔、心字池、壁泉、軟式野球場、体育館などの施設があり、鮮やかな花々や緑ゆたかな木々に四季の移ろいを感じる事ができ、地域はもとより多くの府民の皆様に憩いと潤いの場を提供しています。記念誌『住吉公園と住吉さん』をガイドブックにして、公園や住吉大社界限には非お立ち寄りください。

住吉さんと太閤さん 第七回

——オーストリアの秀吉関係絵画群をめぐって(上)——

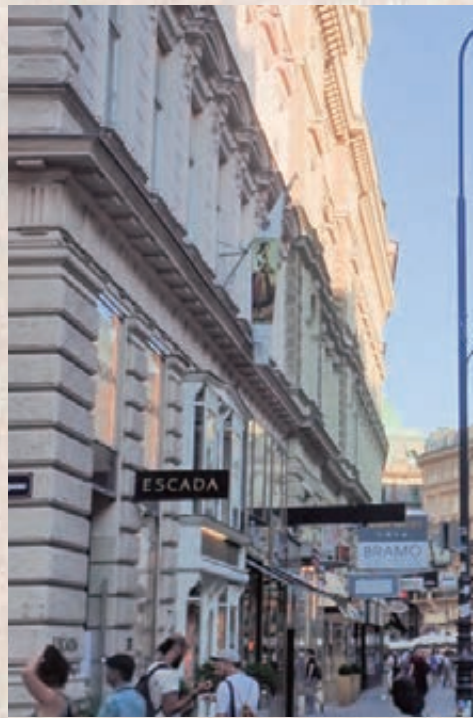
就実大学講師 竹内 洪介

住吉大社と豊臣秀吉——どちらも古くから大阪で愛され、親しみを込めてそれぞれ「住吉さん」「太閤さん」と呼ばれた存在です。ここでは、江戸時代に流布した秀吉の伝記的資料を中心にして、そんな「住吉さんと太閤さん」の意外なかかわりを探ってみたいと思います。



この風景を見てください。
二〇二三年八月、オーストリア共和国の首都ウィーンの光景です。ハプスブルク家のもので栄え、一八世紀にモーツアルトやベートーヴェンを擁して「音楽の都」と称されたこの街は、今も当時の面影を残しています。

どうして欧州の街にこの男が？
とお思いの方もおられることでしょう。たしかに、日本古典の研究者が外国、しかも欧州にいる、



→2023年8月、オーストリア国立図書館からほど近い、ペスト記念柱前の光景。

というのは一見、奇妙な取り合わせに思えます。しかしながら、第五回「住吉大社にある『絵本太閤記』」でもお伝えしたように、日本は江戸時代以前の古い本（古典籍と言います）を全国的な規模で守り伝えてきています。公立・私立の図書館、博物館、美術館、教育機関をはじめ、寺社仏閣、それに全国にいる個人の蔵書家が、たくさん（か）の古典籍を所蔵しています。私たちは、令和の現在でも、ヤフーオークションなどで、江戸時代以前の古典籍や屏風、掛軸、短冊などを比較的廉価で手に入れることができます。このような状況から、日本古典籍は海外でも実は多く確認されるのです。今や北米、欧州、アジアにおける諸国家の所蔵機関に、日本の古典籍や、日本について書かれた古い資料があることがわかってきています。

とはいえ、その全貌は未だ明らかではありません。私は去年、縁あってフロリダ大学（アメリカ合衆国）の日本コレクションを整理する機会に恵まりましたが（詳細は「フロリダ大学に所蔵される日本資料」をご覧ください）、それまでフロリダ州に日本資料があるなどということとはまったく知られていませんでした。しかし、実際に現地赶赴て調査してみたところ、新たな津田梅子の肖像画や葛飾北斎の『富嶽百景』など、極めて貴重な資料が多数所蔵されていることが明らかになったのです。このような事例は枚挙に暇がありません。

そこで今回は、オーストリアのエッゲンベルク城に所蔵される「豊臣期大坂図屏風」を中心に、オーストリアにおける「太閤さんと住吉さん」の知られざる貴重な資料をご紹介します。なお、オーストリアの日本資料を渉猟して回った結果、興奮のあまり筆が進み、得られた成果を厳選しても、到底今回一回分では収まらない内容になってしまいました。次号にどうしてもまたがってしまいますが、どうぞお許しください。



↑オーストリア国立図書館蔵。「Taicosama Imperadore del Giappone」と記される。(ÖNB/Wienna) (15.6cm × 20.2cm)



↑オーストリア国立図書館蔵。「NANGAZACHI REX JAPO」と記される。(ÖNB/Wienna) (18.5cm × 25.7cm)

まずみなさんにご覧いただきたいのは、右に示した西洋風の出で立ちをした男の肖像画です。

オーストリア国立図書館にある「Taicosama」と題された絵画で、いずれも画風や紙質から西洋で出版されたものであることが明らかです。この絵画はこれまで同館の蔵書検索システム上で公開されてきましたが、日本の研究者にこの存在が認知されてきたようには思われません。私自身、「豊臣期大坂図屏風」の調査が決まって、オーストリアの各図書館の蔵書目録を調べて初めて知ったことでした。

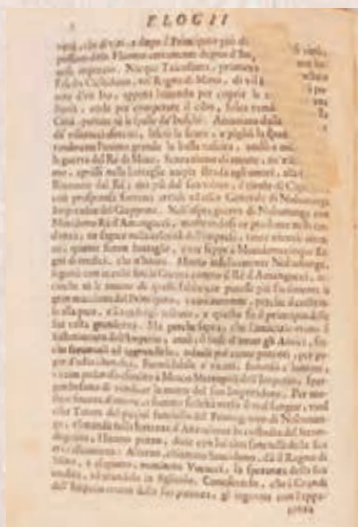
ちなみに、これ以外にもう一点、秀吉の肖像と伝わるものがありました(写真左)。これについても同様に調査したところ、この画像は秀吉を描いたものではなく、どうやら偽ドミトリー一世として知られるロシアの偽ツァーリ、グレゴリー・オトレピエフ(ドミトリー二世、一五八二―一六〇六)を描いたもののようです。しかし、たしかにこの絵にはキャプションとして、上部に「NANGAZACHI REX JAPO」(長

崎、日本の王」というラテン語の標記があり、また下部には当該の「Giapon」（日本）の人物に関するものと思しき詳細の説明文がイタリア語で備わっているため、この肖像が秀吉像であることをたしかに暗示させるように思われます。ところが、グレンジャー・コレクシオンに所蔵されるまったく同一の肖像を確認したところ、そこらには左写真にあるような上部・下部の説明ともになく、その代わり、単に「The first counterfeit Demetrius」（偽デミトリ一世）と下部に示されているのみです。

この点を踏まえて秀吉のものとされるこの肖像画を実見したところ、この上下部のキャプションは年季こそ入ってはいましたが、どこかの時点で書き加えられた情報のように思われました。こう考えあわせると、実のところグレンジャー・コレクシオンの説明文が後付けなのかどうかという問題もいきおい出てくることになってしまいます。ただしこれは本題ではありませんので、今私が考えている結論のみをお示しすることとしますが、この肖像についてはグレンジャー・オトレピエフのものと伝わる他の肖像との類似性が極めて高いことから、ひとまずこれはオトレピエフの肖像と考えて問題ないのではないかと思っています。

余談が長くなりましたが、では前頁で右に示したもう一つの、髭のない西洋風の出で立ちをした男の肖像画はどうでしょう。この男の肖像画の裏面にはびっしりとイタリア語の文章が書き連ねられ、しかも上下部が切断されています。この肖像は、先ほど論じたオトレピエフの肖像とともに、いずれも秀吉の肖像とされ、皇帝のコレクシオンの一部としてオーストリア国立図書館に伝わったものとされますが、しかしオトレピエフと同列に論じることにはできません。なにしろこの肖像の裏面にびっしりと書かれたイタリア語は明らかに印字されたものであり、しかもその文中には「Taicosama」（太閤様）、「Fasciba」（羽柴）、「Nobunanga」（信長）など、明らかに秀吉のことを示唆するように思われる文言が散見されるのです。改めて肖像を見てみると、肖像下部のキャプションには、「Taicosama Imperadore del Giappone」（太閤様、日本の皇帝）とあり、しかもこれはオトレピエフ像のような直書きによるキャプションではなく、明らかに装飾枠に印字されたものであるゆえに、間違いなく秀吉を指し示していると思われるのです。いったい、この秀吉像はどういうもので、なぜ西洋風に描かれているのでしょうか。

この正体を解き明かすカギとなるのが、肖像画の裏面にびっしりと書かれた文章です。上下が切り取られており、しかも肖像画がごくありふれた料紙に印刷されたものであることを考え合わせると、これは書籍の挿絵を切り抜いたものではないかと思われました。この発想から調べてみたところ、この肖像画がロレンツォ・クラッソ（一六二三〜一六九二）というナポリの文筆家が記し、一六八三年にヴェネツィ



→ 国際日本文化研究センター蔵「著名武将伝賛」（右が秀吉肖像、左がその背面）。

アで出版された『著名武将伝賛』（別名『著名武将列伝』という本の挿絵を切り抜いたものであることが明らかにになりました。

この本自体、現存が一例しか確認されていない極めて貴重なもので、二〇二一年二月、国際日本文化研究センターが所蔵する同書に秀吉と家康の列伝が記されていることが判明し、一躍ニユースとして話題になったことが知られています（『読売新聞』二〇二二年二月二日号）。この『著名武将伝賛』に見られる秀吉の挿絵とオーストリア国立図書館のポートレートを見比べたところ、両者が完全に一致することがわかりました。たった一枚の切り取られた挿絵ではありますが、オーストリア国立図書館のこの秀吉の肖像画は、『著名武将伝賛』の二例目として認めることができるでしょう。

それにつけても興味深いのは、秀吉の肖像画が「偽物」まで含めて、一見日本とまったく関係がないように思われるこのオーストリアの地に伝わり、しかも皇帝のコレクションとして、現代にいたるまで大切に伝えられてきたということですね。実際、『著名武将伝賛』のスクラップもオトレピエフのポートレートも、驚く

ほど保存状態がよく、いちいち管理番号まで振られ、目録化されて今日まで伝わってきていました。『著名武将伝賛』について付言するならば、著者のクラッソは秀吉を世界中の「武将」から選りすぐって巻頭に据え、その生涯について詳細にまとめているのです（小川仁「驚異へ捧げる賛辞——ナポリ随一の文筆家ロレンツォ・クラッソに見る日本像」参照）。この書物はクラッソが活動の拠点を置いたナポリではなく、はるか北のパドヴァで異端審問官による審査を受けた上で、「Combi e La Noù」という出版社から海港都市ヴェネツィアで刊行され、その経路から隣国であるオーストリアにも入ってきたものと思われます。

「Combi e La Noù」はフィレンツェでも刊行業を行っていたことが知られており（Alfonso Mirto, *i Combi-La Noù ed il commercio librario con Firenze*, 参照）、相当の大手産業であったことが推察されますが、ではなぜ秀吉はオーストリア・イタリア両国でこれほどの注目を浴びているのでしょうか。今回は申し訳ないことに「住吉さん」を登場させるところまではいかず、片手落ちの記事になってしまったのですが、次号では、エッゲンベルク城所蔵「豊臣期大坂図屏風」のレポートも含める形で、欧米に伝わる「住吉さんと太閤さん」をより深く分析してみたいと思います。

参考文献

- ・ Alfonso Mirto, (1992) *i Combi-La Noù ed il commercio librario con Firenze. La Bibliofilia*, gennaio-aprile 1992, Vol.94, No.1 (gennaio-aprile 1992), pp.61-88.
- ・ 小川仁「驚異へ捧げる賛辞——ナポリ随一の文筆家ロレンツォ・クラッソに見る日本像」〔日本研究〕第六五集、二〇二二年一〇月）
- ・ 竹内洪介「フロリダ大学に所蔵される日本資料」〔就実表現文化〕第一七号、二〇二三年一月）

付記

オーストリアに所蔵される絵画二点および『著名武将伝賛』のイタリア語およびラテン語解説にあたり、ストルティニー・パリデ氏、小林亜沙美氏のご助言を得ました。オーストリア国立図書館調査にあたっては、Ulrike Polnizky氏、Mathias Böhm氏の、エッゲンベルク城調査にあたっては、Paul Schuster氏、Clara Langthaler-Kränkl氏の助力を得ました。ここに深く御礼申し上げます。また、本調査にあたってJSPS科学研究費（22K20041）の助成を受けたことを併せて付言いたします。

住吉開帳

「住吉明神古画」と「品物比礼」

— 『十種神宝伝』の伝

住吉大社教学顧問 八木 意知男



某蔵『十種神宝伝』所載「品物比礼」図

大凡、垂加神道の中で熟成されたものの一つに「十種神宝」がある。「十種神宝」については、玉木正英『玉籤集』巻八に「十種神宝之伝」なる部分が存し、中で「品物比礼」について

品物比礼とは、品物は万特也。広く万物比礼有事を云。則天子之宝冠是也。比礼を以君を覆ひ守る也。能君を輔佐し防護は臣下の任也。品物に比礼有事を云て、万惶れ敬むことを示す。鏡、玉、比礼、共に陰陽を付説也。品物比礼は、君の宝冠、君天下万物の比礼を統玉へり。宝冠は君を覆ふ器物、君を覆ひ防護るは、臣下の任也。十種神宝は品物に止る。

と述べている。そして、某蔵写本一本は「十種神宝折紙」部分に

十品比礼

品物比礼和尚伝、「品物」字ヲヨマズ。但、

「クサクノ比礼」トヨム也。此比礼ハ万布ヲスグル故ニ、御即位ノ時ノ冠トス。今世ニテモ此ヲ用スル也。但シ此図ハ略ク也。実ハ珠石テ莊嚴セル赫ニタル体ナリ。大云ハ此冠ト彼ノ住吉明神古画ノ比礼ト也。今主上、御平生ノ冠ハ唐冠ノ転セルナリ。臣下ノ烏帽子ハ云ノ比礼ノ転セルト也。

としてことである。

問題としたのは、右の引用文中に傍線を付した「彼ノ住吉明神古画ノ比礼ト也」部分である。『十種神宝』中の「品物比礼」が新帝御即位の時の冠である事の証左が「住吉明神古画」にあるとする。是は大嘗会和歌が披講される席に臨む住吉明神のことをいう。然らば是非共確認しなければならぬ一点であろう。

おしらせ



住吉大社叢書第一巻

すみよっさんの

境内と石燈籠

編集・住吉大社叢書刊行会／住吉大社

価格・一、三〇円（本体一、一〇〇円）

発行・清文堂出版 令和5年（2023）3月刊

ISBN978-4-7924-1501-3

海の神、和歌の神として古くから信仰を集めてきたその歴史と境内、石燈籠から徹底解説する

社務日誌抄 (令和五年五月から一〇月分まで)

令和五年(二〇二三年)

五月

- | | |
|--|--|
| <p>一日 朔日祭・全国弓道大会奉告祭、神武宮司以下奉仕。第七二回住吉大社全国弓道大会(住吉大社全国弓道大会実行委員会・大阪府弓道連盟主催、公益財団法人全日本弓道連盟・大阪府・毎日新聞社・全日本弓道連盟近畿地域連合会・財団法人住吉名勝保存会後援)、小笠原流第三一世宗家小笠原清忠氏・大阪府弓道連盟会長 砂田勝紀氏以下参列、小笠原清基氏以下墓目奉射奉仕。参加者三二三名。</p> <p>【団体優勝】(女子)愛媛県(西内愛梨・坂東亜美・瀧水幸虹)、(男子)岡山県(戸田俊一・大角和希・西村英信)。(個人優勝)(女子)中塚美德(大阪府)、(男子)岩村拓生(長野県)。卯の花苑、開園(二一日迄)。</p> <p>阿部富貴子氏来社奉賛。</p> <p>すみよし博覧会(こどもdeすみ博)(五月殿)。(学)廣瀬学園学園長 廣瀬清美氏来社。</p> <p>四日 BS大阪一二三団育成会総会、神武宮司・加藤権宮司・福山権禰宜出席。伊太祁曾神社禰宜 奥重貴氏来社。</p> <p>五日 東粉浜春まつり(東粉浜小学校)武田権禰宜代参。深夜の豪雨により北脇参道にて倒木発生、石燈籠(天明四年紀州和歌山宇治屋長蔵以下寄進)一部破損。</p> <p>六日 春の全国交通安全運動キャンペーン(反橋前・正面参道)神武宮司・神楽女二名参加。大阪護國神社宮司 藤江正鎮氏・日本経済大学准教授 久野潤氏、大阪港振興(株)谷本武美氏・藤本孝憲氏来社。御神酒講講元 池田雅昭氏来社奉納。</p> <p>七日 ※政府、本日より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けを二類から五類感染症へ移行。</p> <p>八日 卯之葉神事、神武宮司以下奉仕。舞楽・天王寺楽所雅亮会理事長 藤原憲氏以下、献茶・住吉大社茶道部 宮浦宗正氏・岩前宗房氏、献香・香道閑院流福井北勝洞社中各奉仕。</p> <p>九日 常任総代 平岡英信氏、(公財)住吉名勝保存会理事長 高野伸生氏、住吉踊保存後援会会長 長谷川八重子氏、大阪供奴保存会会長 出野進氏、旧社家 津守亮太氏以下参列。奉納舞楽「振鈴・萬歳楽・胡蝶・春庭花・長慶子」(天王寺楽所雅亮会)。奉納能「翁面掛式」他すみよし反橋能実行委員会委員長 氏田耕吉氏。大阪書林御文庫講講元 藤波優</p> | <p>一日 大阪出版協合理事長 矢部敬一氏・日本書籍出版協会大阪支部長 岡本功氏以下定例参拝。</p> <p>二日 初辰大祭・楠瑠社例祭、加藤権宮司以下奉仕。市戎大國社月次祭、川畑禰宜以下奉仕。初辰バザーボランティア連絡会催行。</p> <p>三日 堀越神社宮司 橋本光彰氏来社。(学)浪速学院開校一〇周年記念祝賀会(スイスホテル南海大阪)神武宮司出席。神道青年会定時総会(ホテル阪急インターナショナル)福山小山手権禰宜出席。読売テレビ「かんさい情報ネットten」収録。</p> <p>四日 大阪ガスWEBサイト「炎の探偵社」取材。</p> <p>五日 大海神社月次祭、小出権禰宜奉仕。真言宗高野山金剛峯寺、逸見禰宜訪問。</p> <p>六日 住吉武道館総合作品展、神武宮司・加藤権宮司観覧。(財)住吉村常盤会評議員会、小出権禰宜出席。</p> <p>七日 十五日祭・新型コロナウイルス感染症衰勢奉告祭、神武宮司以下奉仕。宿院頓宮会計監査会、岡禰宜出席。なにわ七幸会総会。滝沢 西角権禰宜出席。住吉公園事業会議、小出権禰宜出席。</p> <p>八日 臨時責任役員会、太田重彦氏・山中諄氏・島野容三氏、神武宮司以下出席。(公財)住吉名勝保存会理事会、加藤権宮司出席。和合友の会来社参拝清掃奉仕。</p> <p>九日 浅澤社例祭、岡禰宜以下奉仕。新宮社例祭、川畑禰宜以下奉仕。乃木神社宮司 高山陽充氏・花園神社宮司 奥出克尚氏参拝。御田植神事粉黛戴盃式・神田代舞、社内習礼。茶道稽古。</p> <p>一〇日 神宮・皇學館大学、神武宮司・加藤権宮司参拝訪問。</p> <p>一一日 御文庫曝書(雨天のため参拝研修会)日本書籍出版協会大阪支部・大阪出版協会・大阪書林御文庫講有志三三名奉仕。念法真教代表役員 一宮良範氏参拝。</p> <p>一二日 海上交通安全祈願祭、加藤権宮司以下奉仕。大阪レクリエーション協会おさか元氣プロジェクト活動境内使用。</p> <p>一三日 粉浜まつり(北粉浜小学校)武田権禰宜代参。</p> <p>一四日 神社視察研修、倉智 河野 滝沢権禰宜出張(二四日迄)。神輿会祭礼打合、逸見禰宜・武田権禰宜出席。住吉公園事業会議、小出権禰宜出席。</p> <p>一五日 住吉大社会計監査、責任役員監事 太田重彦氏・同山中諄氏、専任会計士 山下孝士氏・同小島康秀氏・神武宮司、</p> |
|--|--|

加藤権宮司以下出席。大阪市立墨江小学校校区探検、生徒八二名来社。

二四日 神社本庁表彰式同祝賀会(明治記念館)加藤権宮司出席。館友会総会(乃木会館)加藤権宮司出席。

二五日 青葉会総会(明治記念館)神武宮司・加藤権宮司出席、高階権禰宜随行。住吉区更生保護女性会研修会、小出権禰宜講師(区民センター)。

二五日 近畿財務局長 関口祐司氏・住吉税務署署長 小林修氏来社。和宗総本山四天王寺 瀧藤尊淳管長晋山式、高井名譽宮司参列。

二八日 浅沢社月詣、高階権禰宜奉仕。石川県白山市安田春日神社宮司 錦木芳樹氏・同敬神会三〇名参拝。

二九日 住吉大社セミナー「住吉開帳 住吉三忘のこと」京都女子大学名誉教授 八木意知男氏講演。

三〇日 学名譽教授 八木意知男氏講演。宿院頓宮會計報告、岡禰宜出席。住吉自衛消防協議会、高階権禰宜出席。神社庁第九支部役員会、倉智権禰宜出席。定例清掃。職員会議。シニア自然大学校講座、小出権禰宜講師。

六月

一日 朔日祭、神武宮司以下奉仕。貴船社例祭、坂野権禰宜以下奉仕。(株)伊藤園、お茶ペットボトル七九二〇本奉納。

二日 卯之日祭、岡禰宜以下奉仕。神功皇后正辰祭、神武宮司以下参列(狭城盾列池上陵)、岡禰宜以下職員各参拝(第四本宮)。畝火山口神社へ神武宮司・加藤権宮司参拝、高階星野権禰宜随行。住吉税務署署長 小林修氏来社・確定申告広報協力(感謝状伝達、高井名譽宮司受納。WFFセミナーミーティング、岡禰宜出席。住吉公園事業会議、小出権禰宜出席。

三日 初辰祭、加藤権宮司以下奉仕。館友会支部総会、神武宮司・加藤権宮司以下九名出席。神社庁神道古典研修会、岡禰宜・附柴権禰宜参加。BS団会議、福山 星野権禰宜出席。

四日 安立地区三親会総会、神武宮司・加藤権宮司以下五名出席。神道史学会総会、川畑禰宜出席。

五日 神戸市小野八幡神社禰宜新渡戸翔太氏来社。神道青年会近畿地区連絡協議会野球大会、星野 小山手権禰宜参加。ニッセイ企業セミナー、中野権禰宜参加。

六日 責任役員会・常任総代会・総代会、責任役員 太田重彦氏以下三名、常任総代 北村英一郎氏以下四名、総代 古武一成氏以下七名、神武宮司以下出席。新責任役員 鳥井信吾氏(サントリールホールディングス(株)代表取締役副会長)、

新常任総代 網干康史氏(株)魚萬珍味堂代表取締役社長、新総代 古林達也氏(古林工業(株)代表取締役社長・今村

聖三氏(株)コーニッシュ代表取締役)・片岡克行氏(株)カタオカ代表取締役社長)・佐伯保信氏(大起水産 株代表取締役会長・斉藤裕昭氏(株)末廣堂代表取締役社長)、本日付各就任。

一〇日 市戎大國社月次祭、坂野権禰宜以下奉仕。東粉浜幼稚園夏まつり大会、岡禰宜代参。放送大学面接授業、小出権禰宜講師。

一一日 高松四郎一族の集い参拝。楠公祭(日本学協会)。

一二日 住吉大社セミナー「住吉開帳 続住吉三忘のこと」京都女子大学名誉教授 八木意知男氏講演。神宝・古代神像三聖市指定文化財(文化財修復につき(公財)美術館へ搬出。浪速学院中学校新校舎地鎮祭、神武宮司参列、星野権禰宜随行。神社庁祭式講師研修会、岡禰宜出席。

一三日 大海神社月次祭、小出権禰宜奉仕。松原市布忍神社宮司寺内成仁氏来社。相撲大会打合せ、田中実氏・大谷昇氏来社、神武宮司以下五名出席。御田植神事習礼。御田代撞筋植、御田講奉仕。

一四日 御田植神事(重要無形民俗文化財)神武宮司以下奉仕。御田植神事保存会・御田講(講元 濱田孝氏)・住吉踊保存後援会(会長 長谷川八重子氏)・武者行事保存会(会長 小島康秀氏)・田植踊保存会(会長 西山経代氏)・大阪供奴保存会(会長 出野進氏、植女御檢女世話役代表 若柳吉翔氏)・住吉大社奏楽部(世話人 高橋昭人氏等各奉仕)・(一財)住吉村常盤会(公財)関西大阪二一世紀協会、各助成。但し斎牛の代撞行事はなし。御田講講元 濱田孝氏、本日付就任。共同通信・テレビ大阪・大阪日日新聞・大阪観光局・J・COM・中外日報各取材。

一五日 十五日祭、神武宮司以下奉仕。八所社例祭、小出権禰宜以下奉仕。日本公認會計士協会近畿会大阪府南地区会会長 川喜多由博氏参拝。神社庁第九支部総会、岡禰宜・倉智 滝沢権禰宜出席。

一六日 貴船神社宮司 高井大輔氏来社。館友会常務理事会、加藤権宮司出席。テレビ大阪「やさしいニュース」取材。東洋きもの専門学校、境内撮影。大阪市立天下茶屋小学校写生会、境内使用。神武宮司以下参籠。

一七日 天皇皇后両陛下印度尼西亚共和国御渡航行幸啓安泰祈願祭(臨時中祭)、神武宮司以下奉仕。WFF主催生物多様化セミナー、岡禰宜講師。

一九日 清水みなと祭安全祈願祭、同実行委員会七名参拝。和歌山市紀東照宮宮司 西川秀夫氏来社。西南学院大学非常勤講師 吉田扶希子氏来社。近畿地区中堅神職研修会、小出武田 倉智 宮崎権禰宜受講(一三日迄)。

二〇日 海上交通安全祈願祭、加藤権宮司以下奉仕。

二二日 関西学院大学助教 森重裕子氏来社。茶道稽古。京阪神エールマガジン社 Meets 取材。

二二日

市戎大国講打合会、川畑禰宜以下四名出席。草薙会近畿支部総会、万力禰宜・附柴權禰宜出席(翌日迄)。兵庫県たつの市神戸神社宮司伊藤崇人氏来社。神職階位授与式、西角權禰宜出席。大阪市立我孫子中学校職場体験学習三名受入(翌日迄)。

二三日

(株)島津興業代表取締役社長 島津忠裕氏以下来社。神武宮司以下参籠。

二四日

天皇皇后両陛下印度尼西亚共和国御渡航還幸啓奉告祈願祭(臨時中祭) 神武宮司以下奉仕。

二五日

宿院頓宮崇敬会大祭・飯匙堀遥拝式・同総会、岡禰宜出席。神武宮司・加藤權宮司、熱田神宮参拝、高階權宮司随行。

二七日

大阪府文化財センター定時評議委員会、高井名誉宮司出席、倉智權禰宜随行。神社庁定例協議員会、岡禰宜出席。岡禰宜、大阪府神社庁理事・同協議員・同責任役員・同教化委員副委員長、委嘱状交付。住吉踊保存後援会支部長会、逸見禰宜以下四名出席。

二八日

浅沢社月詣、高階權禰宜奉仕。大阪市立墨江丘中学校職場体験学習五名受入(翌日迄)。

二九日

住吉祭警備合同打合会、神武宮司以下出席。全国国宝重要文化財所有者連盟通常総会、高階權禰宜出席(翌日迄)。大祓式、神武宮司以下奉仕。定例清掃。

三〇日

七月

一日

朔日祭、神武宮司以下奉仕。今村聖三氏総代就任奉告祭。深江菅細工保存会、神事用菅三〇〇本奉納。社報「住吉っさん」第四〇号本日付発行。

二日

枚岡神社宮司 中東弘氏・同氏子青年会会長 浅田勝氏以下一五名参拝。夏越祓神事粉黛戴丵式習礼。

三日

四條畷神社宮司代務者 大橋弘邦氏・同前宮司 木村昌彦氏来社。神道青年会理事総会、福山權禰宜出席。

四日

住吉税務署インボイス制度研修会、中野 宮崎權禰宜参加。神職採用試験面接、加藤權宮司以下立会。

五日

大阪国学院講師協議会、岡禰宜出席。

六日

星宮例祭、小出權禰宜以下奉仕。住吉祭御神酒講献酒打合会、加藤權宮司・庄司 附柴權禰宜出席。

七日

卯之日祭、加藤權宮司以下奉仕。

八日

初辰祭、加藤權宮司以下奉仕。無双直伝英信流居合兵法大阪東研究会参拝。

九日

一〇日 市戎大国社月次祭、岡禰宜以下奉仕。

二二日

(株)島津興業代表取締役社長 島津忠裕氏以下参拝。住吉警察署協議会、武田權禰宜出席。住之江警察署住吉祭渡御許可申請、地域住民代表者・岡禰宜以下四名陳情。大阪府立住吉商業高等学校インターンシップ八名受入(二四日迄)。

一三日

大海神社月次祭、小出權禰宜奉仕。大鳥大社宿院頓宮夏祭打合会、岡禰宜出席。

一四日

港住吉神社宵宮祭、加藤權宮司以下奉仕。高知県高知市潮江天満宮前宮司 故山中隆夫氏社葬、神武宮司参列、高階權禰宜随行。依羅地域活動協議会女性部地域学級、小出權禰宜講師。

一五日

十五日祭。港住吉神社例祭、加藤權宮司以下奉仕。神武宮司以下四〇名参列。

一六日

粹心流星華吟詠会宗家 池田哲星氏以下参拝。

一七日

神輿洗神事、加藤權宮司以下奉仕。神武宮司・住吉区长 平澤宏子氏・住之江区長 末村祐子氏以下五〇名参列。住吉漁業協同組合・住吉神輿会・住吉祭太鼓会奉仕。(昨年同様、正面参道を祭場に、境内にて神輿奉昇を実施)。帝塚山学院高等学校ダンス部、三大会出場祈願祭※第三五回全日本高ダンスフェスティバル文部科学大臣賞、第一六回日本高校ダンス部選手権全国大会優勝、第一一回全国高等学校ダンス部選手権準優勝。高砂神社夏祭、中谷 大久保神楽女助勢。

一八日

大阪船主会 海上安全祈願祭、加藤權宮司以下奉仕。同会長 櫻田治氏・近畿海事広報協会会長 永田昭仁氏・近畿運輸局局長 金井昭彦氏・大阪海上保安監部監部長 伊藤卓郎氏以下四〇名参列。住吉警察署住吉祭渡御許可申請、地域住民代表者・加藤權宮司以下五名陳情。

一九日

大阪府高齢者大学校、小出權禰宜講師。

二〇日

海上交通安全祈願祭、岡禰宜以下奉仕。産経新聞社(献詠依頼)小出 奥野權禰宜訪問。

二一日

斯主社例祭、万力禰宜以下奉仕。住吉祭花神輿実行委員会 大阪府知事表敬訪問、神武宮司同行。住吉公園催事打合会、小出權禰宜出席。

二二日

BS一三三团行事、境内使用。

二三日

浪速高等学校伊勢修養学舎禊行事、万力禰宜講師(二五五迄)。

二四日

御神酒講 献酒報告祭。國學院大學名誉教授 岡田莊司氏来社。天神祭大阪書林御文庫講船渡御、加藤權宮司・小出權禰宜参加。

二六日

南海電気鉄道(株)元社長 故川勝泰司氏お別れ会、高井名誉宮司・神武宮司参列、高階權禰宜随行。相撲大会抽選会、大阪府相撲連盟理事長 山下雅史氏以下一〇名参加。

二七日

住吉祭渡御賛者会議、加藤權宮司以下五名出席。ABCテレビTOKIO城島ほのぼの茂「収録」、岡禰宜出演。

二八日

堺大魚夜市成功安全祈願祭、実行委員長 久保照男氏以下一五名参拝、蛸鯛鮫奉納。住吉祭花神輿実行委員会 大阪市長表敬訪問、神武宮司同行。(学)皇学館評議委員会、高井名誉宮司出席。図書「すみよっさんの境内」と石燈籠」発刊奉告祭、関西大学名誉教授 藪田貴氏・同教授 黒田一

充氏参列(※三月三十一日付刊行)。

三〇日

住吉祭・宵宮祭・神輿遷靈祭。神武宮司以下奉仕。神輿会会長・中野紀久雄氏以下来賓・神輿会・奉仕者参列。山蔭流式庖丁奉納式。子供神輿・花神輿奉昇。サンテレビジョン取材。境内出店等中止(八月一日迄)。宮司以下参籠。

三一日

住吉祭例大祭・夏越祓神事(大阪府指定無形民俗文化財記録選択)、神武宮司以下奉仕。常任総代・北村英一郎氏・平岡英信氏・網干康史氏以下来賓・地区代表者・奉仕者参列。堺大魚夜市、出張祭典奉仕。大鳥大社渡御祭、岡禰宜参列。住吉大社元禰宜・大寄敬大氏、短刀(月山貞勝 昭和一八年住吉大社神前鍛錬刀)奉納。

八月

一日

住吉祭 献花式、平野坂上七名家当屋 末吉康三郎氏奉仕。朔日祭・卯之日祭。住吉祭 神輿渡御・頓宮祭・荒和大祓神事(堺市指定無形民俗文化財)、遷輿祭、神武宮司以下奉仕。住吉祭後援会会長・中野紀久雄氏以下役員・供奉員、神輿会・花神輿等輿丁奉仕。本年は神輿を大和川北岸迄人力奉昇。堺市市長・永藤英機氏・大鳥大社宮司・水無瀬忠俊氏・宿院頓宮総代長・島野容三氏以下頓宮祭参列。八坂神社三若神輿会会長・近藤啓史氏以下来社。

二日

人形流神事、庄司権禰宜以下、堺市出島漁業協同組合奉仕。初辰祭、加藤権宮司以下奉仕。住吉警察署・住之江警察署・堺北警察署(住吉祭御礼)・加藤権宮司・武田権禰宜訪問。神社庁教化委員会、岡禰宜出席。本日をもって住吉公園の創立一五〇年(明治五年八月二日太政官布告第一六号により開設)。

三日

神楽女採用現場説明会。

四日

(株)太閤バフ製造所 橋本尚子氏、陶器人形奉納。

五日

大阪国学院スクーリング祭式助教、岡禰宜助勢。住吉公園歴史探訪祝・記念誌発刊フォーラム「住吉大社から生まれて一五〇年」共同開催、神武宮司挨拶、小出権禰宜講師。BS団会議、奥野権禰宜出席。住吉大社前郵便局、境内清掃奉仕。

六日

安立神輿会反省会、神武宮司以下出席。

七日

薄墨社例祭、高階権禰宜以下奉仕。住吉公園一五〇年記念誌「住吉公園と住吉さん」(東方出版)刊行。

八日

関西北前船研究交流セミナー実行委員会、小出権禰宜出席。神社庁初任神職研修会、鈴木小山手権禰宜参加(一日迄)。

一〇日

市戎大国社月次祭、武田権禰宜以下奉仕。故富田良治氏通夜祭、神武宮司・高階権禰宜参列。モンゴル国日本文化大使・佐藤紀子氏以下来社。

十一日

大阪書林御文庫催事打合せ、小出権禰宜出席。

一三日 大海神社月次祭、小出権禰宜奉仕。大鳥大社例祭、岡禰宜参列。

一五日 十五日祭、加藤権宮司以下奉仕。台風七号襲来に備えて終日閉門。

一八日

大阪国学院スクーリング祭式助教、岡禰宜助勢。平野坂上七名家 故辻葩敏克氏、神武宮司・小出権禰宜弔問。

二〇日

海上交通安全祈願祭、加藤権宮司以下奉仕。大阪国学院スクーリング祭式助教、岡禰宜助勢。

二一日

住吉大社元禰宜・大寄敬大氏、短刀(月山貞勝 昭和一八年住吉大社神前鍛錬刀)奉納奉告祭。

二二日

皇學館大学階位検定講習会、小出権禰宜講師。

二四日

モンゴル国日本文化大使・佐藤紀子氏以下来社。

二六日

大阪国学院スクーリング祭式助教、岡禰宜助勢。

二七日

館友会全国大会、加藤権宮司・岡禰宜・西角権禰宜・古館神人出席(翌日迄)。杜南振興町会、境内使用。

二八日

浅沢杜月詣、高階権禰宜奉仕。皇學館大学神職養成部、高階 武田権禰宜訪問。

二九日

鳥井信吾氏責任役員就任奉告祭。皇學館大学階位検定講習会、小出権禰宜講師(翌日迄)。神社庁第九支部祭式研修会、岡禰宜・倉智 滝沢権禰宜参加。労務管理研修会、白井主事補参加。

三〇日

市政記者クラブ(吉祥殿企画説明)岡禰宜・石橋主事訪問。定例清掃。職員会議。読売新聞取材、小出権禰宜応対。

三一日

堺市博物館特別展「一三点貸出運搬。マグチグループ(株)チェアマン 前田克巳氏会合、高井名譽宮司・神武宮司出席。

九月

一日

朔日祭、神武宮司以下奉仕。橋社例祭、武田権禰宜以下奉仕。住吉公園編集会議、小出権禰宜出席。

二日

献詠短歌選者会、選者 佐沢邦子氏 安田純生氏 香川ヒサ氏選考。住吉踊保存後援会会議、逸見禰宜以下五名出席。

三日

献詠俳句選者会、選者 古賀しづれ氏 森田純一郎氏 小杉伸一路氏選考。

四日

大阪帝塚山RC会合、高井名譽宮司出席。

六日

卯之日祭、加藤権宮司以下奉仕。福岡県神社庁糸島支部副部長 外山貴寛氏以下九名参拝。

七日

初辰祭、加藤権宮司以下奉仕。神社庁関係者大献茶式、裏千家 千宗史若宗匠以下奉仕。

八日

会実行委員会、岡禰宜出席。

九日

志賀神社例祭、高階権禰宜以下奉仕。御祓講獅子会議、逸見 万力禰宜・西角権禰宜出席。皇學館大学階位検定講習会、小出権禰宜講師。献茶式御礼、高階権禰宜以下各所訪問。

一〇日

市戎大国社月次祭、中野権禰宜以下奉仕。常任総代 故新

堂友衛氏告別式、高井名誉宮司・神武宮司参列、高階権禰宜随行。

二一日 住吉大社セミナー「地元の方の語りから甦る光景」住吉公園と住吉さん「編集で行ったヒアリングより」大阪市立大学名誉教授 水内俊雄氏講演。

二二日 近畿の式内社を顕彰する会、小出権禰宜出席。

二三日 大海神社月次祭、小出権禰宜奉仕。乃木神社御鎮座百年奉祝記念大祭、加藤権宮司参列。日本相撲協会(手数入奉納式依頼)岡禰宜・武田権禰宜訪問。

四日 元常任総代、故佐伯尚孝氏お別れの会、高井名誉宮司・神武宮司参列、高階権禰宜随行。

十五日 十五日祭、神武宮司以下奉仕。大阪書林御文庫講創立三〇〇年記念講演会(大阪市中央公会堂)小出権禰宜講師。同記念懇親会、神武宮司挨拶。

本月をもって住吉御文庫の創立三〇〇年(享保八年九月発願)。

一六日 (学)浪速学院秋季例祭、神武宮司参列。島根県立八雲たつ風土記の丘ガイド養成講座、川畑禰宜講師。

一七日 蛭子悠加氏、来社奉賛。神社関係者懇親会、神武宮司出席、高階権禰宜随行。

一九日 児安社例祭、坂野権禰宜以下奉仕。神楽女採用選考会。神社庁祖靈殿秋季合祀慰霊祭習礼、岡禰宜参加。

二〇日 海上交通安全祈願祭、加藤権宮司以下奉仕。愛知県神社庁教化委員長 小嶋今興氏以下二二名参拝。港住吉神社副総代長 故三好英男氏告別式、神武宮司・加藤権宮司会葬。

神社庁祖靈殿秋季合祀慰霊祭助祭員、岡禰宜奉仕。宿院頓宮夏祭會計報告会、岡禰宜出席。シニア自然大学校講座、小出権禰宜講師。茶道稽古。

二一日 大阪府従業員組合慰霊祭、加藤権宮司以下奉仕。神社庁第九支部役員会、岡禰宜出席。オリックス・パファローズリーグ優勝三連覇、中野権禰宜御祝訪問(去三月七日参拝祈願)。

二二日 大阪国学院スクールリング祭式助教、岡禰宜助勢。

二三日 皇靈殿遷拜式、神武宮司以下奉仕。招魂社秋季例祭、加藤権宮司以下奉仕。神馬塚参拝、神武宮司・加藤権宮司参拝、高階 倉智権禰宜随行。

二四日 大阪天満宮太鼓中総代 布谷雅則氏以下九名参拝。日本吟道奉賛会大阪本部参拝、吟詠吟舞奉納。一寸法師顕彰碑奉賛奉納奉告祭、(医)優光会おかもと眼科クリニック理事 長 岡本直之氏奉賛、絵所預 水江東穹氏参列。住吉歴史ボランティアアガイド入門講座、小出権禰宜講師。

二五日 (学)浪速学院理事會評議員会、神武宮司出席。神宮大麻暦頒布始奉告祭、岡禰宜参列。読売テレビ「遠くへ行きたい」土井善晴氏収録(二九日放送)。

二六日 献茶式、表千家 左海大宗匠奉仕。館友会大阪府支部会、

加藤権宮司以下五名出席。南大江地域活動協議会郷塾、小出権禰宜講師。

二七日 西宮神社本えびす講社日供講社、同権宮司 吉井良英氏以下一六〇名参拝。献茶式御礼、高階権禰宜以下各所訪問。観月祭舞楽習礼。茶道稽古。

二八日 浅沢社月詣、高階権禰宜奉仕。升の市実行委員会打合会。観月祭(産経新聞社後援・末廣堂協賛)、神武宮司以下、天王寺楽所雅亮会、住吉踊保存後援会、住吉大社茶道部、選者 佐沢邦子氏、各奉仕。常任総代以下参列者、各奉仕団体・献詠選者・入選者・産経新聞大阪本社 北村昭宏氏以下参列。短歌・天位「基地の島日蔗刈り終えて風の道はろばる」として空へつらなる「六月朔日光氏、地位」山小屋の灯を消して観る今日の月虫の音色に言葉も要らぬ」北村純一氏、人位「眠られずテントを出れば満月は君とつくりしケルンを照らす」米谷茂氏、俳句「天位」神籬の影ほの白き月見かな「高田佐土子氏、地位」墨磨るや硯へ月のひと雪「岩水ひとみ氏、人位」難波津の波の音きく月見かな」堀瞳子氏。奉納舞楽「振鉦・承和楽・延喜楽・長慶子」。

二九日 十八日会、神武宮司初出席(石清水八幡宮)高階権禰宜随行。定例清掃。職員会議。

一〇月

一日 朔日祭、神武宮司以下奉仕。初辰祭、加藤権宮司以下奉仕。第五〇回住吉大社式年遷宮奉賛会設立準備室開設同準備室室長 加藤権宮司、事務局長 岡禰宜、同次長 高階・武田権禰宜、會計長 中野権禰宜。

二日 志賀海神社禰宜 阿曇幸興氏来社。神社庁教化委員会会議、岡禰宜出席。御田草刈、御田講一五名奉仕。武道館駐車場付近火災発生(初期消火)。

三日 日本文教出版(株)、献木碑再建除幕式。神輿会会議、万力禰宜出席。神道青年会理事會、福山権禰宜出席。日本武尊を仰ぐ会総会、神武宮司・加藤権宮司出席。住吉祭礼図研究会、小出権禰宜参加。

四日 日本武尊を仰ぐ会巡拝会、神武宮司・加藤権宮司参加。蓬萊講(献米依頼)高階権禰宜以下各訪問。相撲大会(協賛依頼)宮寄権禰宜以下各訪問。皇學館大学共通科目、小出権禰宜講師。神宮大麻暦支部頒布作業、岡禰宜参加。

五日 大阪府文化財保護課、防災工事調査来社。住吉警察署警備交通課来社、正月警備打合。

六日 港住吉神社氏子総代会参拝旅行(神宮)加藤権宮司・名村権禰宜同行。北前船寄港地フォーラム、小出 奥野権禰宜出席。

七日 マークエステル先生感謝の会、加藤権宮司出席。住吉幼稚園運動会、岡禰宜代参。社叢学会理事長 櫻井治男氏来社。

八日 住吉大社前郵便局、清掃奉仕。
七幸ウォーキングラリー、滝沢権禰宜同行。大阪国学院
スクーリング祭式助教、岡禰宜助勢。

九日 大蔵社例祭、坂野権禰宜以下奉仕。

一〇日 市戎大国社月次祭、太田権禰宜以下奉仕。愛知県犬山市
大縣神社例祭、神武宮司参列。

一一日 中隆村氏、旧社家客方仲間大江氏中家文書 津守国礼詠懷
紙、津守国福・国美詠短冊等奉納。

一二日 卯之日祭、加藤権宮司以下奉仕。山口県下関市長門国一
宮住吉神社・生野神社、神武宮司参拝、高階 宮寄権禰宜
随行。大阪シテイ信用金庫理事長 高橋知史氏祝賀会、高
井名譽宮司出席、星野権禰宜随行。住吉税務署来社、年
末年始駐輪場および税務広報打合、武田権禰宜応談。

一三日 大海神社例祭、加藤権宮司以下奉仕。大海協議会会長 北
村泰規氏・大阪市漁業協同組合代表理事組合長 北村英一
郎氏・(株)コーニッシュ代表取締役 今村聖三氏・旧社家
大領節治氏、大海神社龍宮講各参列。福岡県福岡市筑前
国一宮住吉神社例祭、神武宮司参列、高階 宮寄権禰宜隨
行。志賀海神社・香椎宮・筥崎宮等、神武宮司以下参拝。
産経新聞正論調査室長 塩瀬崇久氏来社。

一四日 刀剣奉納奉告祭、水野鍛錬所 水野範忠氏来社参列。作詞
家 松本隆氏来社、POIREグランシェフ 辻井良樹氏同
行。NHK大河ドラマ「どうする家康」紀行潤礼「どうする
家康」ツアーズ取材。

一五日 十五日祭、神武宮司以下奉仕。おいとしぼし社秋季例祭、
高階権禰宜以下奉仕。敷布講講元 故石田英世氏、岡禰宜・
奥野権禰宜弔問。

一六日 龍社例祭、倉智権禰宜以下奉仕。小南富美子氏来社奉賛。
住吉大社セミナー「中世の住吉・堺―一休さんが暮らした
住吉大社―」堺市博物館学芸員 矢内一磨氏講演。

一七日 神宮神嘗祭選擇式、御田刈式、宝之市神事、神武宮司以下、
御田講 濱田孝氏・藪野雄史氏、東洋きもの専門学校 田中
昭子氏、升の市実行委員長 矢吹拓也氏、市女・楊梅樺氏
以下五名各奉仕。升の市催行(絵馬殿)。東京都赤坂氷川
神社宮司 恵川義昭氏参拝。大阪書林御文庫講講元 藤波優
氏 矢部敬一氏来社奉賛。国際タングステン協会(二〇〇名、
夜間参拝。

一八日 十八日会、神武宮司出席、伏見稲荷大社 高階権禰宜随行。
大阪眼鏡商工連合会会長 中尾卓司氏・めがねの碑維持管
理委員会委員長 東二雄氏以下一三名定例祈願参拝。住吉
警察署 交通安全広報キャンペーン境内使用。茶道稽古。
后土社例祭、川畑禰宜以下奉仕。

一九日 海上交通安全祈願祭、加藤権宮司以下奉仕。NHK大河
ドラマ特別展「どうする家康」静岡市美術館へ出品(会期
十一月三日～十二月一七日)。大阪書林御文庫講 大阪天満

二一日 宮曝書、奥野権禰宜参加。
船玉神社例祭、万力禰宜以下奉仕、置田貴之氏・今村聖
三氏以下参列。大阪国学院スクーリング祭式助教、岡禰
宜助勢。BS団会議、西角権禰宜出席。

二二日 第八回回生相撲大会【高校生 団体優勝・箕島高B、個人
優勝・西出大毅氏(和歌山商業高)】【中学生】優勝・上垣
凜人氏(長居)【小学生】四年生優勝・木村大和氏(創志道)、
五年生優勝・阿部聡太郎氏(堺)、六年生優勝・岸田幸之
輔氏(堺)、※本年は個人優勝者に対して水野鍛錬所鍛造
協差を授与。第一七回住吉寄席落語会、桂弥吉氏・桂雀
五郎氏・桂米團治氏登壇、三林京子・桂すずめ氏・桂米
團治氏・高井名譽宮司・神武宮司による特別対談。第
一〇回住吉大社浪曲寄席(住吉武道館)京山幸枝若氏・春
野美恵子氏・真山隼人氏出演。堺市博物館特別展「展協
力神輿運搬、神輿会有志奉仕。大阪国学院スクーリング
祭式助教、岡禰宜助勢。すみよし博覧会催行、境内使用。
学生相撲大会御礼、高階権禰宜以下各所訪問。大阪国学
院スクーリング祭式助教、岡禰宜助勢。院友神職会、庄
司 宮寄 星野権禰宜出席。御田稲刈、御田講員奉仕。
神社スカウト協議会、山下権禰宜出席。住吉寄席落語御礼、
武田権禰宜訪問。

二三日 関西北前船研究交流セミナー実行委員会、小出 奥野権禰
宜出席。草薙会近畿支部会議、附柴権禰宜出席。
真言律宗総本山西大寺、神武宮司訪問、高階 小出権禰宜
随行。正月露店商打合会、岡禰宜以下出席。

二四日 浅沢杜月詣、高階権禰宜奉仕。(学)皇學館評議員会、高井
名譽宮司出席。兵庫県川西市多田神社秋季例祭、神武宮
司参列、宮寄権禰宜随行。市戎大国講打合会、川畑禰宜
以下出席。NHK大河ドラマ「どうする家康」紀行潤礼「ど
うする家康」ツアーズ」境内撮影。

二五日 照國神社例祭、加藤権宮司参列。杉合乗馬クラブ大阪グ
ランプリ・ファイナル大会御祝、神武宮司訪問、高階権
禰宜随行。

二六日 神社庁関係者大会、神武宮司・岡禰宜・倉智権禰宜出席。
天王寺楽所雅亮会 小野真龍氏来社。大阪国学院スクーリ
ング祭式助教、岡禰宜助勢。

二七日 定例清掃。職員会議。七五三詣撤下奉製作業公開、毎日
新聞・奈良新聞各取材。

二八日 定例清掃。職員会議。七五三詣撤下奉製作業公開、毎日
新聞・奈良新聞各取材。

二九日 定例清掃。職員会議。七五三詣撤下奉製作業公開、毎日
新聞・奈良新聞各取材。

三〇日 定例清掃。職員会議。七五三詣撤下奉製作業公開、毎日
新聞・奈良新聞各取材。

三一日 定例清掃。職員会議。七五三詣撤下奉製作業公開、毎日
新聞・奈良新聞各取材。

第84回 学生相撲大会

令和5年10月22日（日）境内の土俵において住吉大社宝之市神事奉納学生招待相撲大会を開催しました。2度の台風（平成30年、令和元年）や新型コロナウイルス感染症予防対策のために順延（令和2年～4年）となり、じつに5年ぶりの開催となりました。

本年は10年に一度の記念大会のため特別に、株式会社水野鍛錬所の水野範忠様より日本刀（脇差）を奉納いただき、「高校生 個人の部」優勝の西出大毅さん（和歌山商業）へ授与されました。

今年は中学生の部が第8回を数えました。さらに本大会からは「小学生の部」が新設され、約20名の小学生力士が日頃の稽古の成果を披露しました。



高校生 個人の部 優勝 西出大毅さん
水野範忠様より特別賞品の刀剣授与



本年初めての小学生の部



中学生の部の取組

主 管
後 援
協 力

大阪府相撲連盟
毎日新聞社
西野建設工業(株)

第17回 升の市 住吉寄席

同日、境内の神館において住吉大社宝之市神事・升の市「住吉寄席」を開催。相撲大会と同じく5年ぶりの寄席で満員御礼となりました。去る平成15年（2003）故末廣昭雄氏の提唱により、三代目桂米朝師匠が升の市にあわせて住吉寄席を始められ、今回で17回を重ねました。

今回も桂米團治師匠をはじめ、桂雀五郎氏、桂弥彦氏にご出演いただき、中入り後は、三林京子（桂すずめ）さんにご登場いただき、桂米團治師匠と当社名誉宮司の高井道弘、宮司の神武馨彦も加わって特別対談をおこない、会場を大いに沸かせました。

主催 住吉っさん門前町
集客推進委員会
協力 米朝事務所
後援 粉浜商店街

住吉大社 第17回 升の市 住吉寄席

桂米團治 三林京子 事桂すずめ 桂雀五郎 桂弥彦

令和五年 10月22日(日) 開演 14:00 (開場 13:30)

会場 住吉大社 神館
水戸銭 3,000円 全席自由 ※お子さまのご入場はご遠慮下さい。

お問い合わせ 「住吉っさん門前町」事務局 大阪市住之江区粉浜3-10-4
電話・FAX 06-6671-5324(午前10時～午後5時(本曜日休番)・FAXは24時間受付)

主催「住吉っさん門前町集客推進委員会」 制作協力 米朝事務所 後援 粉浜商店街

表千家 献茶式

9月26日（火）、表千家宗匠
左海大様のご奉仕により、神楽
殿において献茶式を斎行いた
しました。また、新型コロナウイルス
感染拡大防止のため
中止していた本席と点心席が
4年ぶりに設けられました。



令和五年
久延毘古たち
住吉かかしプロジェクト

裏千家 献茶式

9月8日（金）、裏千家若宗匠千宗史様のご奉仕により、第一本宮において献茶式を斎行いたしました。また、吉祥殿では淡交会大阪東支部の支部長立野純三様のご奉仕による呈茶が執り行われました。



観月祭 献詠

(令和5年9月29日)

後援…産経新聞社 協賛…末廣堂

短歌

選者…安田純生、佐沢邦子、香川ヒサ

天位

基地の島甘蔗刈り終えて風の道はるばるとして空へつらなる

福岡県

六月朔日光

(評) 現代的な題材をとらえて詩的に表現し、さびしさも漂う。

地位

山小屋の灯を消して観る今日の月虫の音色に言葉も要らぬ

神奈川県

北村純一

(評) 月の光と虫の声のなか、しみじみとした心にひたっている。うらやましいような境地である。

人位

眠られずテントを出れば満月は君とつくりしケルンを照らす

兵庫県

米谷茂

(評) 君との関係を満月の光が祝福しているかのようなのである。

幼き日山の祠に手を合はせ父の手くぼの御酒をのみたり

大分県

後藤信子

女房がモデルだろうと冷やかされる瓜実顔に作る案山子を

埼玉県

若山巖

シジミ蝶空の青さを引き寄せる限界集落の影なき真昼

山口県

森元輝彦

上流へ稚鮎を運ぶトラックが野苅白き岸辺出で行く

熊本県

桑田美智代

起きるにはまだ少と早い午前四時放り出される様に目覚めぬ

広島県

峠 美恵子

満月の夜は電話をかけようと約束したね遠い遠い日

京都府

鯨本ミツ子

街角の証明写真機カーテンの下より見ゆる磨かれし靴

大分県

岸本恵美

梵鐘のなき鐘楼に竿二本渡し大黒大根を干す

大阪府

野々村美南子

大傘を打つ音に合わせいや穂栄と月も微笑む住吉踊り

福井県

備後長治

建設の機材掲げるクレートンが白き満月摘みて空へ

山口県

野村貞江

佳作

(総評) 今回も、読む者の心に沁みてくるような作品が多く、選歌に迷った。(安田 純生)



俳句

選者…古賀しぐれ、森田純一郎、小杉伸一路

神籬の影ほの白き月見かな

大阪府 高田佐士子

〔評〕 神籬は、御神木や神域の森、或いは神を祀る台を言う。この句の場合は、御神木を照らす月光の情景を描いたもので、神前に献じられるに相応しい句である。

天位

墨磨るや硯へ月のひと雫

兵庫県 岩水ひとみ

〔評〕 満月の光の中で、静かに墨を磨る作者。硯に注ぐ水滴に月光が当たって輝いているのである。書家らしい句に仕上がった。

地位

難波津の波の音きく月見かな

兵庫県 堀 瞳子

〔評〕 その昔、住吉大社は難波の海に面して建てられていた。その由緒が詠み込まれた、優れた句である。

人位

明月や述るものの何もなし

大阪府 和田マサミ

月に手の触れんばかりの巫女の舞

兵庫県 小林 恕水

思ひ出のページに綴り今日の月

兵庫県 尾崎 吾郎

高々と朗詠響く良夜かな

大阪府 高石 泉

満月の降りてきさうな雅楽かな

大阪府 奥村 つよし

静かさや月下に映ゆる神の森

兵庫県 野間田 芳叢

健やかに今宵の月を仰ぎけり

大阪府 杉浦 美智子

月待つやふところに望あたたためて

大阪府 藤岡 満

ゆつくりと満つる湾処の月まどか

奈良県 小島 元博

宮の松ことさら濡らす月夜かな

大阪府 古川 育栄

（総評）

今回の応募句四六八句の内、明らかに季重なりと思われる句が十四句有った。中には一句に三つの季語が入っているものも有った。季重なりが全て悪い訳ではない。作品によって意図的に季重なりにする事もある。しかし、季が重なると、一句の焦点がぼやけて何を詠みたいのか分からなくなる事が多い。一句が出来たら、季が重なっていないか見直す習慣を付けて欲しいと思う。

（小杉 伸一路）

住吉大社吉祥殿

料理部

住吉のおもてなし



吉祥殿料理長
南田 寛之



住吉大社との 縁について

お料理に携わって約30年になります。若い頃に京都の下鴨茶寮で修業を積み、この頃は調理技術の研究の日々でした。習得した技術は一生ものです。仕事をしながら思うことがあります。

ました。日本料理の原点は何か？日本最古の調理法は何か？住吉大社で働かせていただいていたので分かりました。それは、神前への供え物である「神饌」であるということ。料理をした神饌を「熟饌」といい、祭りの儀式が終わった後に神前からさげて神とともに食べることを「直会」という神事で、祭りの状態から平常の状態に「直る」意味があり節目の役割を持っています。「十二代景行天皇が日本武尊の戦跡を訪ねられた折に、料理人として随行した磐鹿六雁命が上総の国で、海中から白蛤（ハマグリ）と鰐（かたお）を獲ってなますにして天皇に奉ったことが日本最古の調理法の文獻です。また住吉大社のご祭神は海の神様で、日本料理も昆布や海の幸はなくてはならないものです。住吉大社とのご縁は、調理の世界に入った時から縁があったのでは？と感じています。

住吉大社吉祥殿で料理を作ることでの こだわり

「温故知新」日本料理の伝統を受け継ぎながら、また現代の嗜好に寄り添い、引きだての鮓節のお吸い物や、揚げだての天ぷらをお出ししています。常に中心はお客様で、どのような見た目や味を出せば喜ばれるかを考えて、メニュー組みをしてあります。また祝言の席には欠かせない鯛などは、年配の方々にも美味しく食べていただけるよう、お出しする20時間前に白板昆布で挟み、熟成した旨みたっぷりのお造りを提供するなど、吉祥殿でしか食べられない。このようなお料理をお出しすることにごだわりをもって仕事に励んでおります。



今、仕事で取り組んでいること

日々、仕事に取り組むにあたり料理人としての真髄「饗」を念頭に置いています。読み仮名は「あえ」といいます。饗というのは単なる食べもののことではなく、神仏や高貴な方を饗応することです。その起源は古く、田の神様や山の神様などをお招きし、ご馳走で饗応したのが始まりです。また、ご馳走でおもてなしすることが「饗」で、その食べものを「料理」といいます。そのため、日本料理は饗応を目的としたものです。最近では、なにわ伝統野菜や大阪産を使ったメニューで観光誘致、またはインバウンドなどに大阪観光Ⅱ住吉大社でも宴席が出来ることを知っていただき、広めてゆくように努めています。また結婚式の宴席を彩るお料理にも、住吉大社ゆかりの食材などを盛り込み、他施設との差別化を図って仕事に取り組んでいます。

これからの展望

日本料理は、世界の国々で評価され、平成25年（2013）には「和食」が日本人の伝統的な食文化として、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

日本産の食材やなにわ伝統野菜などを用いて、喰い味である「昆布味」を基本としたお料理を、職人による知識や技術を加えて、さらに住吉にまつわる歴史や「おとぎばなし」などの話題を交えて食の街・大阪を発信していければと思っています。



❀住吉大社吉祥殿

令和6年

住吉大社の 初詣

令和6年の初詣は、三が日を選びゆっくりと安心してご参拝ください。
皆さまお一人おひとり余裕をもって初詣におこしくくださいますようお願いいたします。

年末年始 開閉門時間

12月31日	開門 22:00	→
1月1日	→	閉門 20:00
1月2・3日	開門 6:00	～ 閉門 19:00
1月4・5日	開門 6:00	～ 閉門 18:00
1月6日～	開門 6:30	～ 閉門 17:00

P

12月31日～1月3日迄、交通規制に伴い駐車場閉鎖。
お車での参拝はできません。 ※大型車は12月31日～1月15日まで入庫できません。

- 住吉大社駐車場は有料です。
- 1月中は大変混雑が予想されますので公共交通機関をご利用ください。
- 令和6年1月4日～令和6年2月4日までの駐車料金は以下の通りです。

普通車

1時間 / 1,000円

大型車(バス)

1時間 / 2,000円

五大力石守(石拾い)・釣りみくじは、12月31日～1月5日 の期間閉鎖します。

年末年始(12/31～1/5)、露店の出店ははありません。

安心してご参拝いただくために



混雑状況により、
入場を制限する場合があります。



体調がすぐれない場合は
参拝をおひかえください。

最新情報はホームページより

初詣情報



初詣まいり



1月1日	（祝）	5時	若水の儀	御垣内神井
3日	（水）	8時	元旦祭（中祭）・歳旦祭	第一本宮
4日	（木）	8時	元始祭	第一本宮
7日	（日）	13時	初卯祭	第一本宮
9日	（火）	10時	踏歌神事	第一本宮
10日	（水）	10時	白馬神事・昭和天皇陵遥拝式	第一本宮
12日	（金）	11時	市戎大国社宵宮祭（宵えびす）	末社 市戎大国社
13日	（土）	10時	市戎大国社宵宮祭（宵えびす）	末社 市戎大国社
15日	（月）	9時	市戎八幡宮例祭（湯立てし神事）	末社 市戎八幡宮
2月1日	（木）	10時	御結鏡神事（お弓始め）	第一本宮・神館
27日	（土）	10時	古札焼納式（とんど）	南駐車場
3月5日	（火）	10時	十五日祭・新年献詠祭	第一本宮・神楽殿
17日	（日）	9時30分	今主社例祭	末社 今主社
23日	（祝）	10時	立間社例祭	末社 立間社
3日	（土）	10時	海士子社例祭	末社 海士子社
11日	（祝）	10時	節分祭・追儺歩射式	第一本宮・神館
11日	（祝）	10時	紀元祭（中祭）・橿原神宮遥拝式	第一本宮
17日	（日）	10時	天長祭（中祭）	第一本宮
3月5日	（火）	10時	侍者社例祭	末社 侍者社
17日	（日）	10時	種貸社神種頒賜祭	末社 種貸社
20日	（祝）	10時	皇霊殿遥拝式	第一本宮
4月2日	（火）	10時	招魂社春季例祭	神楽殿
3日	（水）	11時	五社春季例祭	末社 招魂社
6日	（土）	10時	松苗神事・神武天皇陵遥拝式	末社 五社
9日	（火）	10時	正印殿祭	第一本宮
10日	（水）	11時	種貸社例祭	住吉行宮正印殿跡
14日	（日）	10時	種玉稲荷社例祭	末社 種貸社
15日	（月）	11時	おとしぼし社春季例祭	境外末社 港住吉神社境内
20日	（土）	14時	島津忠久公誕生記念祭	末社 鉾社
29日	（祝）	10時	昭和祭（中祭）	末社 大蔵社境内
5月1日	（水）	8時	全国弓道大会祈願祭	誕生石
3日	（祝）	13時	卯之葉神事	第一本宮
4日	（祝）	6時	初辰大祭（初辰まいり）	第一本宮・武道館前弓場
6月1日	（土）	10時	楠瑠社例祭	第一本宮・五所御前・石舞台
14日	（金）	10時	新宮社例祭	末社 楠瑠社
15日	（土）	10時	浅澤社例祭	末社 新宮社
30日	（日）	15時	貴船社例祭	末社 浅澤社
15日	（土）	10時	八所社例祭	末社 貴船社
17日	（金）	8時	水無月大祓式	第一本宮・御田

※祭礼の時間や神賑行事・奉納行事は変更する場合があります。
※朔日・卯之日・初辰祭など毎月の祭典は省略。

第41号の表紙 住吉人形「初辰宝船」

令和6年（2024）の辰年。辰年といえは住吉さんの初辰まいり。辰年に初辰を重ねて、より発達する一年になりますように。

毎週火曜定休日

本店 大阪市住吉区東粉浜三丁目一〇二
TEL 06(6677)4428
FAX 06(6677)3019

御菓子司
株式会社

末廣堂

撰津一之宮 住吉大社御用達御神饌調進処

幾星霜の老舗の味を、ご賞味ください。

焼き上げております。

秘伝の皮で包み、

淡白な味のこしあんを、

十勝小豆を精製した

昔からの銘菓であります。

形どつたなにわの味、

住吉の物産であつたさつま芋を

さつま焼はその昔

元祖 さつま焼（登録商標）



ネえ、ウシろをふり返らず、来年も新しいことにトラいしていこうよ。初タツまいりは、あなたのこも心も健康になることを祈り、あなたの商売がウマくいくことを祈願するお参りです。メ～運は最後の最後までわかりません。サルも木から落ちることだってある。たとえ失敗しても、人生は何度でもトリ返せます。さあ、参拝してみませんか。きっと、イヌも歩けば棒にあたるはずです。いい意味で。

さあ、発達の辰年へ。

初辰まいり
住吉大社

